

AAINews

APPROPRIATE AGRICULTURE INTERNATIONAL CO., LTD

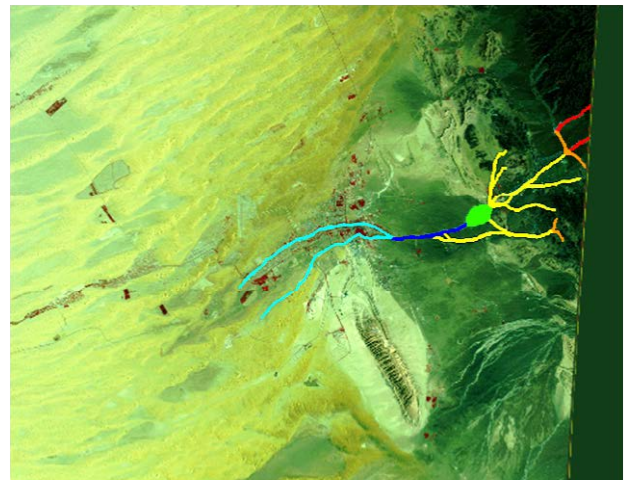
国際耕種株式会社

〒194-0013 東京都町田市原町田 1-2-3 アーペイン平本 403

TEL/FAX: 042-725-6250 Email: aai@sk9.so-net.ne.jp

Wadi ALAIN の流れるまで

砂漠の国 UAE の内陸部の都市、Al Ain の町中には橋が多数架かっています。そこには常時水があるわけではなく、橋の下には比較的植物の豊富な荒地が横たわっています。これは大雨の後だけ水の流れる水無し川で、このような川を現地ではワディ(WADI)と呼んでいます。ワディの多く見られるのは主に山間部及びその周辺で、それは山間部に降った雨が沢伝いに集まり鉄砲水を起こすためです。広漠たる砂漠の真ん中でいくら大量の雨が降ろうとも雨は砂の中にじわじわと吸い込まれるばかりで、砂丘を流してしまうような鉄砲水は起こりません。それではなぜ山岳地帯から 40km も離れている Al Ain の町中に全長 70m はあるのかという橋が架かっているのでしょうか。



ワディは山間部のワディ及びその下流の扇状地のワディに大きく分けられ、山間部では局地的にでも大量の降雨があればワディは容易に鉄砲水を起こします(写真の赤の線)。多くの場合、このような山間部のワディに水が流れても扇状地に達する頃には水流はワディ床に浸透してしまい、扇状地のワディが流れるのは山間部のワディよりまれです。しかし、ある程度まとまった降雨が広域に及び、扇状地のワディ床が十分湿る頃には、山間部に降った雨は一気に扇状地を駆け抜けます(橙の線)。このようなワディは扇状地に出ると幾筋か合流し、扇状地の先端に達する頃にはより大きな流れとなります(黄の線)。Al Ain に流れ込むワディの源流は幾筋もあり、それらは Al Ain より 20km ほどの地点で最終的に合流し、その地点は湖の様相を呈します(緑の部分)。そして濁流は一気に Al Ain に達します(水色の線)。これを 1996 年 3 月 11 日の鉄砲水に例を取り時間で追うと、その日の降雨は未明より始まり、8:00am には赤、橙及び黄のワディはすでに流れ、そして 12:00am には緑の地点は水没していました。そして 3:00pm までに水流は Al Ain の入り口(青と水色の境界の辺り)に達しました。そしてこの水流は翌日の午前中まで続きました。また、山間部の源流から水流が砂丘の中に吸い込まれてなくなるまでの総延長は約 70km に達します。

Al Ain の町中での降雨量は例年で 50~100mm 程度なのですが、この冬は 180mm に達しました。山岳部での降雨量はオマーン領内のため正確な数値はわかりませんが、400mm 近くに達していたのではと思われます。また、この年の降雨により、Al Ain の地下水水位は 8 月頃まで上昇し続けたそうです。Al Ain のワディが前回流れたのは 1988 年のことで、だいたい 10 年に 1 度くらい流れるようです。この土地の人々にとって雨は天からの恵みで、オイルマネーで生活が以前と一変した今も、その気持ちに変わりはないと思われます。一方、現在この国の居住者の多くを占める都市に住む外国人にとって雨の恵みより、それによって生じた都市機能の麻痺の方により関心があったようです。(在 UAE・阿部)



山のワディ



砂丘のワディ